

第1回 江南市新体育館建設検討委員会（専門部会）に関する議事録

●日時 平成25年5月31日（金） 午後1時30分～午後2時50分

●場所 市役所 3階 第4委員会室

●出席者 出席委員12名

水野 勲	(江南市体育協会理事長)	※副委員長
脇坂 康彦	(江南市体育協会常任理事)	
石井 雅彦	(江南市体育協会常任理事)	
山田 金重	(江南市体育協会理事)	
駒田 庸	(江南市スポーツ推進委員会会長)	
河合 正猛	(江南市スポーツ少年団本部長)	
高橋 政稔	(名城大学教授)	※委員長
鈴木 浩樹	(一般公募者)	
安部 由紀子	(一般公募者)	
松岡 英子	(一般公募者)	
滝 正直	(江南市経営企画部長)	
鈴木 慎也	(江南市教育部長)	

欠席委員2名

畑中 まゆみ	(古知野北小学校長)
石井 悦雄	(江南市教育長)

■市長あいさつ

- ・この体育会館も昭和43年に建設されたもので、非常に老朽化が進んでおり、施設のいたるところに設備の修繕が必要となってきております。そうした状況の中、委員の皆様におかれましては、市民の方が安心して利用していただけるすばらしい体育館の建設を目指し、新体育館建設の基本計画等策定にご尽力を賜われますようお願い申し上げます。

■委員長選出

委員の互選により、委員長に高橋政稔氏を選出

■委員長あいさつ

- ・新体育館は、江南市の顔となる存在になると思います。市民の皆様から利用される、愛される体育館の建設を目指して、皆様のご協力の下、この委員会を進めていきたいと考えておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

■副委員長の選出

委員長の指名により、副委員長に水野勲氏を選出

■副委員長あいさつ

- ・いろいろなスポーツがある中で、自分が行っている競技以外は詳しく分かっていないのが現状ですが、皆様のご協力の下、進めていかなければなりませんので、よろしく願いいたします。

■議事

1. 会議の傍聴及び議事録の公開について

当委員会の内容は、委員の皆さんから忌憚のない意見交換を行いたいと考えますので、会議そのものは非公開とし、議事録については、発言者の名前を伏し要旨をまとめて公開をするということで、委員の総意により決定。
※議事録は、市のホームページに掲載

2. 議題について

委員長

では、議題（1）これまでの経緯についてです。
まず事務局から説明をお願いします。

事務局

○これまでの検討委員会の流れについて

昨年度までは、市職員で構成された江南市新体育館建設検討委員会を設置し、建設場所の選定及び施設概要の調査・検討を行って参りました。今年度におきましては、新たに江南市新体育館建設検討委員会（専門部会）を設置し、建設基本計画書の策定に関することなどの調査・検討を行います。また、昨年度までの検討委員会は、江南市新体育館建設検討委員会（作業部会）と名称を変えて、専門部会が必要と認める事項について調査・検討を行います。

○昨年度の検討委員会の開催状況について

昨年度は、第1回から第5回まで検討委員会を開催し、外部委員も含めた委員会において、建設候補地については、「現在の市民体育会館敷地内（市民プール）を建設候補地とする。」ことで決定されました。

○新体育館建設基本計画策定委託業務に係る業者選定について

業者選定については、提案型説明（プロポーザル）方式により一般社団法人地域問題研究所に決定いたしました。

- ・江南市新体育館建設検討委員会（専門部会）設置要綱の説明
- ・江南市新体育館建設検討委員会（作業部会）設置要領の説明

委員長

ただ今、事務局から説明がありましたが、それについてのご意見やご質問があればお願いします。

委員

平成24年度に行われた検討委員会の中で、新体育館建設の配置及び館内施設等について話し合われていますが、どのような内容だったのですか。

事務局

規模については、概ね5,000㎡程度必要なのではないか、また、館内施設については、防災機能や避難施設としての機能も兼ね備えた内容にしなければならないなど、大まかな内容です。

- 委員 | プロポーザルは、何者あったのですか。
- 事務局 | 業者は 5 者指名をさせていただきましたが、その内 2 者は辞退となりました。
- 委員 | プロポーザルでの業者選定は、見積金額で決定したのか、それとも内容で決定したのかどうですか。
- 事務局 | 業者選定につきましては、評価基準がありまして、各業者の提案内容等について評価をし、決定いたしました。ですから、必ずしも見積金額が一番安い業者が選定されるというものではありません。
- 委員 | 現在の体育館は、駐車場があまりないですが、新体育館建設では、どのように考えていますか。
- 事務局 | 駐車場については、新体育館を考える上で非常に大きな要素だと考えていますが、現在は約 150 台程度の駐車場がありますが、その倍の 300 台程度は必要であると考えています。
- 委員 | 今、駐車場の話が出ましたが、昨年度行われた外部委員を含めた第 4 回検討委員会の中で、新体育館の建設場所については、現在の市営グラウンドに建設する（案 1）、現在のプールに建設する（案 2）、現在の体育会館の場所に建設する（案 3）という 3 つの案がありました。その中で、現施設の利用状況、代替施設の必要性など様々なことを考慮し検討した結果、案 2 が妥当なのではないかという結論に至りました。したがって、プールの場所に新体育館が完成したあとは、現在の競技場等を取り壊しますので、その場所を駐車場等にしていくという案です。
具体的には、基本計画書の業務を請け負う地域問題研究所が、そうした跡地の利用方法なども含めて、この検討委員会での意見や市民の方の意見を聞くワークショップなどを踏まえ、今後、具体的な形にしていくわけであります。
- 委員長 | 駐車場の問題は、確かに重要だと思います。新体育館ができた場合、市民の方はもちろんのこと、市外からも多くの人に利用していただくことを考えると、アクセスなどの問題もあり、やはり広い駐車場は確保する必要があると考えます。
それからプールの件についても、現在の敷地内に作ることは無理かもしれないが、将来を見据えて考えていく必要はあるのではないのでしょうか。

- 委員 現在のプールも、体育館と同様に老朽化が進み、水漏れなど修繕が必要なのは一緒に、稼働期間が短い割には非常にコストのかかる施設であります。また、現在の主流は屋内型プールであり、将来に向かって立派なプールを作るときには、そうしたことも考慮に入れて考えていただきたい。ですから、新体育館の建設においては、案2が一番よいのではないかと、前に向かって進めていこうとなったわけであります。
- 委員長 予算等も限られていますので、将来を見据えて考えていく必要があります。
- 委員 駐車場について、北部給食センターの敷地は、駐車場として利用できなかったですか。
- 事務局 大きな大会などがある場合は、その役員の方については、駐車していただくことはできますと案内はしております。
- 委員 土・日曜日は、給食センターとして稼働しないわけだから、恒常的に利用することはできませんか。
- 委員 施設の所管は教育課であり、また利用時には職員が不在であることから、施設の管理・運用上、恒常的に利用を認めることは好ましくありません。
- 委員 例えば小牧市などで大会が行われるときは、公園・広場・学校の運動場といったところを臨時の駐車場として利用できますので、市民体育会館でもグラウンド（野球場）を臨時の駐車場とすることはできないのでしょうか。
- 副委員長 やはり、モラルが問題です。以前にも、禁煙であるということ掲げてやっても、タバコの吸殻やゴミなどは落とされるわけで、その後の片付けが大変であったことも現状にあります。
- 事務局 現在、市営グラウンドを駐車場で利用するということは、お断りしております。
- 委員 今日の新聞にも防災の観点から、江南市は非常に恵まれているということが掲載されておりました。新体育館建設という機会ですので、地域が盛り上がるためには行政だけでなくいろいろなところから力を集結して、別の場所にひとつ大きなものを作りたいことを考えていただきたい。観光という点からも、1つのスポットとなり県内外からも人を呼べると思いたすが。
- 委員 新体育館の建設につきましては、予算化をして建設するということがすでに決まっております、今年度はその基本計画書の策定を行

っていくということで、具体的に進んでおります。

ですから、別のところというお考えも将来において全くないわけではありませんが、現実的に決定していることではありませんので、その上での建設計画は困難であると考えます。

ただ、規模的には 5,000 m²程度というお話もありましたが、その与えられた条件の中で、プラスアルファという部分はあると思います。先程もお話しました昨年度までの検討委員会での結論を踏まえた上での、ご意見・ご検討をお願いしたいです。

委員 5,000 m²というのは、具体的にはどのようなものを考えてお見えますか。競技種目によっても違ってきますが、例えば大きな大会を行う場合、公式戦を行うコートが 1 面、それとは別に練習を行うことができるサブアリーナが必要となるのですが。

委員 私も思うのですが、やはりプロのようなトップレベルの試合が行われるような会場にしないといけないと思います。特に子供たちにもそうしたゲームを見せることで、学んで成長することができると思います。

委員 基本的な考え方として、公式な試合ができるような施設と考えております。ただ、今後具体的な内容になったときに、プロができるような公式試合ができる会場を優先するのか、それとも多くのアマチュアの団体等が利用しやすいような会場とするのかは、先程お話しました地域問題研究所が行う各種調査などを踏まえ、これからこの検討委員会で決定していくことになると思います。そのあたりの判断材料を、地域問題研究所に提示していただくこととなります。

また、この検討委員会は、基本計画書の策定に関することをご検討していただくことを目的としておりますが、要綱上、皆様の任期も特に定めておりませんので、今後、基本設計や実施設計という段階においてもこの委員会でのご意見が必要であれば、引き続き継続していくことも考慮していきたいと思っております。

委員 プロポーザルの時に、競技場の大きさや内容についての提案はあったのですか。

委員 具体的な提案というものではなく、基本計画書の策定においてのイメージ図などを提案してきた業者もありました。

委員 実際の体育館などにおいて、設計のプロが引いた線であっても間違っている場合もあります。競技種目によって、例えば天井の高さや窓の位置などコート上の最低限のルールがありますので、折角作るわけですから実際に使えないような競技場にならないように、そうしたところには予算を削らないでしっかり作っていただきたいです。

委員長 いろいろとご意見を出していただいて、せっかく新体育館を作るわけですから使えないような競技場を作っても仕方がないわけですので、その点はしっかりやっていかなければなりません。とりあえず前提条件として、新体育館は 5,000 m²程の大きさであるということが決まっているわけです。

事務局 先程の 5,000 m²という大きさの考え方ですけれども、メインアリーナとサブアリーナを含めてであります。

委員 例えばバスケットボールですと、コート 2 面、コートとコートの間は十分な面積があつて、観客席があつてという感じですか。

事務局 イメージ的には、そうなります。

委員 現在の体育会館には、すごく会議室の数が充実しており、市においても大変重宝している状況です。この会議室のあり方についても、今後この検討委員会での重要な協議事項になるわけです。市民の皆さんのご意見として、例えば、サブアリーナは必要ないので会議室をもっと充実させて欲しいとか、体育館を競技ばかりでなくもっと多目的に使いたいとかいろいろな考え方があつて、そうしたことも今後検討していかなければならないことです。

委員 これは、新体育館であつて新体育会館ではないので、競技場に重点をおいて考えるべきではないですか。

委員 大きな大会を開催する場合には、会議室は必要になってきます。もちろん一般の方も使えるように、今ある程度の会議室はぜひ残して欲しいと思います。

委員 ただ、この建設にあたっては、防災機能を兼ね備えた役割も持つ施設となりますので、そうした点からも会議室はある程度必要となってきますので、検討要素の 1 つになってきます。

委員長 多目的といっても限界があるわけで、どこまでできるのか、その限界を今後考えていかなければなりません。それから文化会館にも会議室がありますが、あのような会議室は今の体育会館にはありません。あのような会議室があれば、防災機能の面からもよいのかもしれませんが、少し費用はかかるかもしれませんが、必要なものにはかけていくべきだと考えます。

委員長 他には何かご意見はなかったでしょうか。
特にないようですので、次の議題（2）今後のスケジュールについて、事務局説明をお願いいたします。

事務局	今後のスケジュールを説明。
委員長	今の説明について、ご質問などはありますか。 特にないようですので、次の（３）その他について、事務局、何かありますか。
事務局	会議の開催要件について説明。

《第 1 回江南市新体育館建設検討委員会（専門部会）終了》